



日本磁器誕生・有田焼創業400年事業

平成27年度 事業進捗状況 (H27.8.31現在)

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会



日本磁器誕生・有田焼創業400年事業



実行委員会

事務局

連絡調整会
5月25日、7月22日、8月5日

指導・助言

専門家・有識者
(必要に応じて)

協賛事業検討委員会2回開催

広報活動検討委員会3回開催

<事業体系別プロジェクト委員会>

記念セレモニー

有田焼の展示・催事

観光集客イベント

未来へつなぐ企画

記念セレモニー委員会

小委員会 小委員会

【400年有田の魅力展の企画内容等の検討及び推進】

4月20日 経過説明、代表者決定
5月19日 イベント実施有無、催事内容
6月23日 式典招待客、カウントアウン事業
7月10日 カウントアウン事業

400年有田の魅力展委員会

小委員会 小委員会

【400年有田の魅力展の企画内容等の検討及び推進】

魅力展委員会 2回開催
正副委員長会議 4回開催
企画商品展小委 4回開催
歴史展小委 2回開催
この他小冊子制作関係、企画商品説明会、選定会開催他

ありフェス委員会

小委員会 小委員会

【フェスティバルの企画内容等の検討及び推進】

4月20日 経過説明、代表者決定
5月19日 プレ開催検討
6月16日 プレ開催検討
※プライベート企画会議毎週ごとに開催(まちづくり公社)

子どものための企画委員会

小委員会 小委員会

【子ども達が主役になる企画内容等の検討及び推進】

4月21日 経過説明、代表者決定
5月26日 キッズ検定 催事検討
7月 6日 キッズ検定 催事検討

記念セレモニー — 記念式典・レセプション —

H27予算 13,420千円

事業の状況

■開催時期

H28年10月22日（土）式典14：00～レセプション15：30～（併せて3時間目安）
※翌日10/23（日）開催予定の有田皿山まつりと連携

■開催場所

焔の博記念堂（記念式典：文化ホール、レセプション：コンベンションホール）

■実施主体（予定）

主催：日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会

共催：佐賀県、有田町

後援：伊万里市・唐津市・武雄市・嬉野市・多久市・佐世保市・波佐見町

佐賀新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社西部本社・読売新聞西部本社・朝日新聞社西部本社・産経新聞西部本社・日経新聞西部本社・株式会社陶業時報社・NHK佐賀放送局・NHK福岡放送局・株式会社サガテレビ・株式会社テレビ西日本・株式会社福岡放送・RKB毎日放送株式会社・九州朝日株式会社・株式会社TVQ九州放送・有田ケーブルネットワーク（ラジオ2局）株式会社長崎放送・株式会社FM佐賀・九州旅客鉄道株式会社・松浦鉄道株式会社



H27事業状況

■H27年大みそかのカウントダウンイベント 大みそかから年をまたぐ約30分程度想定（献灯、子ども達を含む町内外の方々に絵付けいただいた碗灯約4,000個の配置、磁器太鼓演奏、磁石場ライトアップ等）

■その他、タイムカプセル開封・封かん、記念誌及び記念碑等の制作についての検討する。

事業の状況

■開催時期・場所

平成27年 9月30日（水）～10月5日（月）	日本橋三越本店	本館7階催事場
平成28年 2月24日（水）～2月29日（月）	阪急うめだ本店	9階ギャラリー内
平成28年 3月 9日（水）～3月14日（月）	福岡三越 本館	<u>9階催事場</u>

■企画内容（日本橋三越本店開催内容）

①有田焼400年の歴史展示

日本の陶磁器文化の中で重要な役割を果たしてきた有田焼の400年の歴史について、一般にも身近なものとして分かりやすく感じてもらうために、江戸期から現代までの人々の生活を彩った各時代のヒット商品（約100点）を展示する。

②有田焼工房再現&ワークショップ

百貨店内に工房を設け、有田の名窯より選抜された熟練の職人や伝統工芸士等が、期間中毎日、ろくろ成形・下絵付け・上絵付けの実演を行い、匠の技で製造工程を見せる。
伝統工芸士の指導のもとで、お客さま参加による上絵付けワークショップを開催。百貨店屋上に特別に設置する窯で焼成してお渡しする。

③現代有田の名匠作品展・有田焼名窯特集

◇現代有田の名匠作品展

人間国宝から有田陶芸協会会員による作品まで、現代有田を代表する優品を紹介。

◇有田焼名窯特集

有田を代表する名窯による代表作品や特別企画品を紹介。

④窯元・商社等による企画商品

400年特別コレクションとして、「スクエアプレート」、「コーヒー碗皿」及び「おてしょ皿」の共同企画商品を提案。（「コーヒー碗皿」企画については、有田陶芸協会及び伊万里・有田伝統工芸士会も参加）
その他400年特別企画として、これからのライフスタイルや消費者のニーズに合わせた有田焼の商品も提案。

個別事業概要【主催事業】

有田焼の展示・催事 — 400年有田の魅力展 —

H27事業状況

- 開催周知のための各種広報宣伝活動
 - ・百貨店が発刊する顧客向け通信誌への掲載
 - ・百貨店が連携している新聞、雑誌及びテレビ等のマスメディアの活用
 - ・その他、実行委員会独自の広報宣伝活動

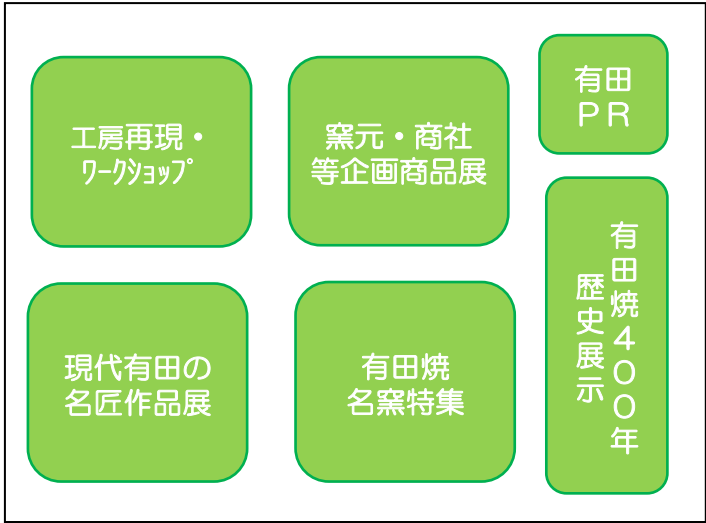
(日本橋三越開催に合わせ、会期前日にマスコミレビューを開催して、有田焼創業400年及び魅力展開催の周知を行う。また東京有田会及び佐賀県人会等に対する周知も行う。)
- 日本橋三越本店・阪急うめだ本店・福岡三越にて随時開催
- 平成28年度開催に向けた調整・検討など
- 総予算額 41,500千円

(※このうち14,076千円については、地方創生県交付金より交付受ける。)

(日本橋三越本店・阪急うめだ本店・福岡三越3店分)

【内訳】

 - ・有田焼400年の歴史展示開催費
 - ・工房再現&ワークショップ開催費
 - ・パブリシティ費(新聞折込、ポスター印刷、小冊子作成など)
 - ・開催諸費(スタッフ旅費、会場設営・警備費、郵送料など)



催事場イメージ (約300坪)

観光集客イベント — 有田まちなかフェスティバル —

H27予算 3,995千円

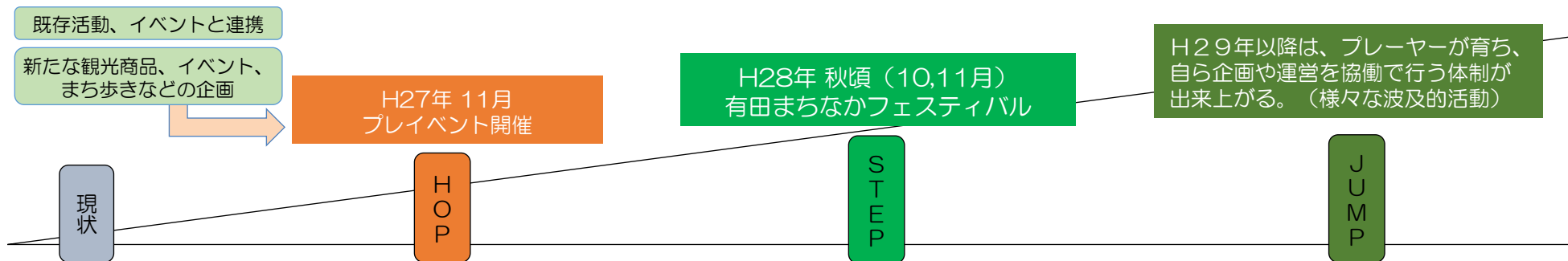
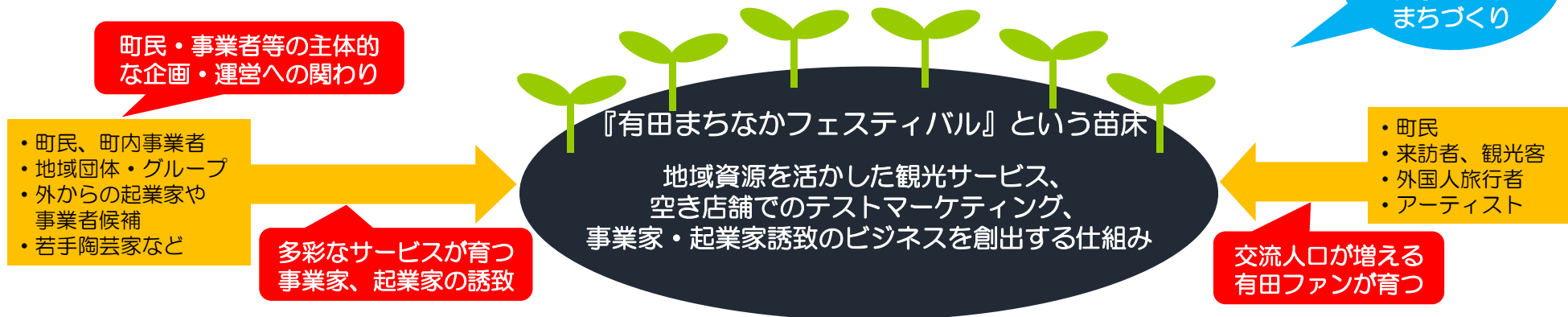
※地方創生県交付金より、別に4,005千円交付あり。

目的・意義

観光まちづくりのスタートとして継続的な地域活性化につなげるため、既存イベントや関係団体等と連携しながら有田焼の伝統と魅力を多くの人に体感してもらう展示・催事等を行うとともに、地域住民・事業者等の主体的な企画と運営による有田の地域資源を活用した様々な体感・体験型のプログラムも盛り込み、新たな観光サービスの創出や担い手づくりにつながる仕組みづくりの場として、魅力満載の催事を開催する。

400年の歴史ある伝統的な町並みや町全体をパビリオンととらえ、有田焼、アート、食、自然と人のコラボレーションをゆっくり体感できるイベント

持続可能な
人づくり
仕事づくり
まちづくり



個別事業概要【主催事業】

観光集客イベント **ー有田まちなかフェスティバルー**

事業の状況

■開催時期

H28年 10月～11月を目途とする。

■内容（効果的な情報発信・集客を図りながら継続的な取組みにつなげていくため、有田商工会議所・有田観光協会と連携。）

①地域住民や事業者等の主体的な企画（参画者を募集し、様々な観光プログラムを町内各所で実施してもらう。）

②集客力の高い特別な企画（多くの方々の関心を集めるような集客力のある特別な企画を会期中に行う。）

③その他

- ・町内の既存イベントや催事等との連携、また案内機能や交通体制検討
（会期中に町内で行われる各種の既存イベントや催事等と連携を図り、相乗効果による町内への集客UPを図る。）
- ・県や周辺市町等のイベントや催事等との連携
（会期中に県や周辺市町等が行われるイベントや催事等とも連携を図り、広がりを持たせることで、相乗効果によるお互いの情報発信や集客UPを図る。）

H27事業状況

■有田まちなかフェスティバル（通称「ありフェス」）を11月に開催する。

町民等への説明会及びワークショップを経て、次のとおり開催予定。（H27.8月末現在）
期間中開催の「秋の有田陶磁器まつり」も当該事業に含めて拡充開催。

- ◇メイン企画 ～ 6企画（空店舗での和文化、ハドメド店展開、各種まち歩きツアー、秋の収穫祭等開催）
- ◇プレイヤー企画 ～ 21企画（各所焼き物体験（製作、絵付け、焼成、工場見学等）、各店舗での飲食、体験、販売等実施、上有田駅前イベント、有田駅前商店街活性化イベント他多数の町民、事業所等が自主企画にて参画）
- ◇広報関係 ～ ポスター、パンフレット制作、専用ホームページ開設等。



事業の状況

■内容

- ・有田キッズ検定については、H27年9月検定実施。
- ・有田の伝統芸能である皿踊りを次世代に継承していくために、H28年の皿山まつりパレードに参加する方向で検討する。
- ・子ども達によるスケッチの陶板制作については、発色等技術的な問題や製作費用の問題等により、陶板化ではなくデジタルフォトフレーム化して、多くの作品が鑑賞できるようにする。
- ・その他、子ども達による陶芸展他子どもが参画できる企画を引き続き検討する。



H27事業状況

- 有田キッズ検定については、7月検定本を制作し、町内小学校5、6年生全員に配布済み。夏休み期間に学習して9月上旬に検定受験してもらう。（各学校で実施予定。受験者全員に有田焼のメダル（桜の花のイラスト、直径5cm）を贈呈。合格者には「有田キッズ博士」の認定書贈呈。）
- 有田観光協会が進めていただいている、子ども達への碗灯絵付け体験は、有田工業高校・有田窯業大学の学生の方も含めて、H27年11月までに完了させ、焼成後、大みそかに泉山磁石場に配置し、カウントダウンのセレモニーで活用する。



協賛事業 **— やる気モリモリ支援事業 —**

H27予算 2,400千円

事業の状況

- 内容
提出された企画書等により審査会を行い、支援が決定した企画について、事業に要した費用のうち対象と認められる経費の2/3（上限：200千円）を支援する。（H24年度より始め、H26年度までで約30件の企画を支援している。）

H27事業状況

- H27年度 2件交付決定済み。

連携事業 **— 既存イベント等の拡充 —** ※町の補助事業

（町H27予算 8,633千円）

事業の状況

- 実施時期
H27年4月～12月：プレイベント、 H28年1月～H29年3月：記念イベント
- 対象とするイベント等
○有田陶器市 ○有田夏まつり ○有田皿山まつり ○有田秋の陶磁器まつり ○有田・食と農業まつり
○有田雛のやきものまつり

個別事業概要【協賛・連携事業】

連携事業 — その他の連携事業 —

H27予算 2,000千円

H27事業状況

■連携事業

そごう横浜店開店30周年記念「佐賀県の物産と観光展 ～食と器の縁結び～」との連携
(主催：佐賀県物産振興協会、後援：佐賀県、協力：有田町、日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会)

■開催時期

H27年9月1日(火)～9月7日(月)

■開催場所

そごう横浜店8階催会場

■開催テーマ

“食と器の縁結び” 今に生きる、佐賀県の歴史と文化「有田焼・唐津焼」と「佐賀の美味しい」のマリアージュ

■連携内容

- 有田PR映像の放映、観光パンフレット等の配布
- 有田焼の製造工程紹介(パネル展示、陶石、製造工程の見本品の展示)
- ゆるきゃら「セラミー」の出演PR
- 有田焼碗琴演奏会
- 女性ろくろ師によるろくろ実演、体験指導
- 有田ふるさと大使/伊藤緋紗子氏によるトークショー
- 有田焼テーブルコーディネートワークショップ など

一 広報宣伝活動 一

H27予算 18,403千円

広報宣伝状況

■ イベント等による広報宣伝

各種イベント等の開催や既存のイベント等とも連携して、積極的な広報宣伝活動を展開する。

- ・ 400年有田の魅力展の開催に合わせた首都圏等でのPRイベント（2015年9月頃）
- ・ その他、県や関係団体及び地域のイベント等との連携

→ 9月：県物産展（横浜そごう）、町イチ村イチ2015（国際フォーラム）
10月：有田皿踊りPR（日本橋室町）その他佐賀バルーンフェスタへの参加検討

■ 多様なメディアによる広報宣伝

多様なメディアを活用し、迅速かつ広域的な広報宣伝活動を展開する。

- ・ テレビ、ラジオ等による広報宣伝活動の推進
- ・ 新聞、雑誌等による広報宣伝活動の推進

→ テレビ番組企画取材支援、ラジオへの情報提供、著名雑誌への掲載

■ 印刷物・工作物等による広報宣伝

各種印刷物や工作物等を制作して、機運の醸成を図るとともに積極的な広報宣伝活動を展開する。独自の印刷物や公共の広報誌だけでなく、民間の情報誌等にも積極的に情報を提供して活用する。

→ チラシ追加制作、パンフレット制作（魅力展用）、民間情報誌等寄稿

■ その他の広報宣伝

町民、関係者等の参加、協力による広報宣伝活動の推進を図る。
PR用のノベルティグッズ等を製作、配布して、広く浸透を図る。

→ 皿踊り登録、「有田まちなかフェスティバル」による町民等参画、子ども、窯業界及び観光客による碗灯絵付け活用、ピンバッジ等追加製作、ホームページ活用

